

## 報告書抄録

ふりがな	さいしょうじけいだいせいせき							
書名	最勝寺境内遺跡（事業名：岩坂南古墳群）							
シリーズ名	中谷川補助通常砂防工事に伴う発掘調査報告書							
編著者名	平井美典							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課			財団法人滋賀県文化財保護協会				
所在地	滋賀県大津市京町四丁目1-1			滋賀県大津市瀬田南大萱町1732番2号				
発行年月日	平成22年（2010年）3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査面積	調査期間	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
さいしょうじけいだい 最勝寺境内 遺跡	こうかし 甲賀市 みなくちちょう 水口町 いわさか 岩坂	25209		34°57'33"	136°07'40"	326㎡	2008 07 22 、 2008 09 18	中谷川補助通常 砂防工事
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構	主な遺物	特記事項		
最勝寺境内 遺跡	寺院跡	平安時代～室町 時代		テラス、土 坑、土器溜 まり、石塔 ・石仏群	土師器、瓦 器、陶磁器、 火打金、宝 篋印塔、五 輪塔	永正十七年(1520)在銘宝篋印塔基礎		
要約	平安後期のテラス遺構や土坑、土器溜まりが検出された。また、境内に集積されていた石塔・石仏の実測調査を行なった。石塔・石仏の年代は鎌倉時代後期～室町時代である。これらの遺構や遺物は、近在する天台寺院である最勝寺に関わるものと考えられる。平安時代、天台王国の親を呈した甲賀地域における天台宗の地域浸透のあり方の一端が確認された。							